

# 石島会計メモ

平成25年11月号



中央区日本橋本石町 4-5-12  
友泉本石町ビル 3階  
石島公認会計士事務所  
(03)3275-1311  
発行責任者 石島洋一

## 『クール問題』で見られた『温度差』を埋めるもの

### ☆☆ヤマトの本を発刊したら、クールの問題

皆様に拙著『クロネコヤマト「感動する企業」の秘密』をお送りしたのは、この石島会計メモ9月号（前々月号）でした。多くの皆様から、感想を寄せていただいて、今まで書いた会計の本との違いに、びっくりするやら感激するやらの状況でした。

しかし、本の発刊からちょうど一ヶ月経った10月25日に、ヤマトの一部支店でのクール宅急便常温放置の問題が発覚しました。テレビや新聞等で取り上げられたことは、皆様ご存知の通りです。

「感動する企業」としてのヤマトの本を書いた私にとっては大きなショックでした。嘘を書いたつもりはありませんし、今までのヤマトを考えれば、「感動する企業」に間違いないと自分に言い聞かせつつも、正直、「こんな時に…」とタイミングの悪さを恨みに持ったことは確かです。



### ☆☆社内の温度差を埋めるのも経営者の仕事

ヤマトの幹部の人達の多くが出席してくれる出版記念会も開かれる予定でしたが、クール問題で中止になりました。楽しみにしていた私にとっては、これもものすごく残念でした。この時、私に出版パーティの中止を伝えてくれたのは、ヤマト運輸の山内社長でした。話をしたのはわずかな時間でしたが、その時の彼の言葉が忘れられません。

**「社内には、まだまだ問題の重要性を認識していない者がいます。経営者と社員との温度差の違いを埋めていくのが、自分の仕事だと思っています」**

私も顧問先の会社で時々感ずるのが経営者と社員の「温度差」です。経営者が話しても、社員には伝わっていない。経営者は自分の強い思いを社員はわかっているだろうと思っているのですが、社員の方はそれほど感じていないというケースです。社長としては、何としてもこの差を埋める必要があります。

## ☆☆社長の夢を語って欲しい

「温度差」はどうしたら無くなるのでしょうか。

もちろん、簡単なことではないでしょうが、社長が社員の方々と「夢」を共有することが大切ではないでしょうか。単なる言葉ではなく、共有できる夢を持つことです。

数年前、中小企業の従業員さんに「不満なことは何か？」とたずねたことがあります。その時に一番多かった不満は、「給料」でも「労働時間」でもありませんでした。「**社長が夢を語ってくれない**」でした。

経営者と社員が同じ目的や夢を持つことによって、精神的に共通のプラットフォームに立つこととなり、温度差はなくなって来るのです。そのためには、社員から「うちの社長は、いつも同じことばかり言っている」と揶揄されようと、何度も何度も同じ夢を語り続けて欲しいのです。

このことが重要な理由は、社員に経営者の夢をわかって欲しいことと、社長自身も自分に言い聞かせ続けることが出来ることです。自分の話した言葉が、自分自身を奮い立たせることはよくあるものです。

是非とも自分の会社の夢を語って欲しいものだと思います。

☆☆☆☆

### ヤマトの本の売れ行き

上記したような事情の中で、ヤマトの本の売れ行きを心配して下さっている方もあろうかと思えます。おかげさまで、PHPビジネス新書の中ではありますが、アマゾンで10月下旬に**一位**になりました。すごい！！ ただし、3日天下でした（笑）。でも、嬉しかったです。



頑張っている歯医者さん登場！



顕微鏡を覗き続けています！



今回は、担当の芦原より、水川歯科医院の水川悟先生をご紹介したいと思います。水川歯科医院は、東京都荒川区にあり、JR日暮里駅から徒歩2～3分のととても交通の便が良いところにあります。



(水川悟先生と顕微鏡)

水川先生は、顕微鏡歯科医のベテランです。親子代々医師、歯科医師で、通常の診療時間以外にも、研修会や勉強会などに出席し、日々、患者さんに対する最善の治療方法を考えています。

写真を見ておわかりだと思いますが、先生のトレードマークは、ひげです。業界では、ひげ先生なんて呼ばれているみたいです。ちなみに、このひげは自分で手入れしているそうです。

また、プライベートでは、最近お子さんがお生まれになったとのことで、歯科医としてはベテランですけど、パパとしては新米ですね。性格は、非常にマイペースで、当たりの柔らかい話し方が特徴です。ブログにも結構力を入れているようです（ブログは“<http://mizu1969.blogspot.jp/>” 又は「ひげ先生 顕微鏡」で検索できます）。

そんな先生にいくつか質問してみたいと思います。では、水川先生、お願いいたします。

(実際の治療風景)

### Q. 顕微鏡歯科ってなんですか？

みなさん、こんにちは。水川歯科医院の水川悟です。顕微鏡歯科とは、その名の通り顕微鏡（マイクロスコープ）を使って治療をすることです。肉眼で歯を見て治療するのではなく、マイクロスコープを見ながら治療することです。



(裏面へ続く)

(表面の続き)

### Q. マイクロスコープを使った治療のメリットはなんですか？

みなさんは、歯医者さんに行って「どういう治療がされているのだろうか？」とか、「ちゃんと治療がされているのだろうか？」などと不安に思ったことはありませんか？私は、そんな患者さんの治療に対する不安を取り除くために、10年前からマイクロスコープを使って治療をしています。これを使って治療



をすると、肉眼では見えないような小さな虫歯まで早期に発見する事ができるのです。最大で20倍ぐらいまで拡大して見る事ができ、さらに、拡大した部分に照明をあてて明るくして見る事ができるのです。マイクロスコープを使って治療した映像をモニターに映し出し、そのモニターを患者さんと一緒に見ながら治療の説明をすることによって、患者さんは安心して治療ができるというわけです。

### Q. 先生の治療方針を聞かせてください。

歯科医療は、初期の段階でしっかりとした治療をすることで長期にわたって自分の歯を維持することが可能となります。それは、マイクロスコープを使った精密な治療やかみ合わせの安定、さらには歯周病を管理するといった総合的な知識と高度な技術を用いて初めて可能になります。当医院では日々の研鑽をし、より良い治療を提供できるように心がけています。「歯を削らない」、「歯を抜かない」、「神経を取らない」をモットーに治療しています。そのためには、マイクロスコープを使った精密な治療が必要と考えております。

水川先生、ありがとうございました。

マイクロスコープの治療って皆様はご存知だったでしょうか？あまり聞き慣れない治療方法ですが、確かに実際に映像を見ながら説明を受けるのはわかりやすいですね。それが、マイクロスコープを使って映し出した繊細な画像であれば尚更です。これからも一人でも多くの患者さんの不安を取り除き、より良い治療をしていただけると嬉しいです。

水川歯科医院

〒116-0014 荒川区東日暮里5-49-5

電話 03-5615-3198

ホームページ <http://www.mizukawadental.com>

(石島会計顧問先ネット(医療街)にもあります)

(水川先生に面会希望等有る方は石島会計宛、ご連絡下さい)